

社会制度の持続性 研究会
2006.6.11 地球研

古代北海道の「青苗文化」について

境界における異文化共存の制度をめぐって

瀬川拓郎

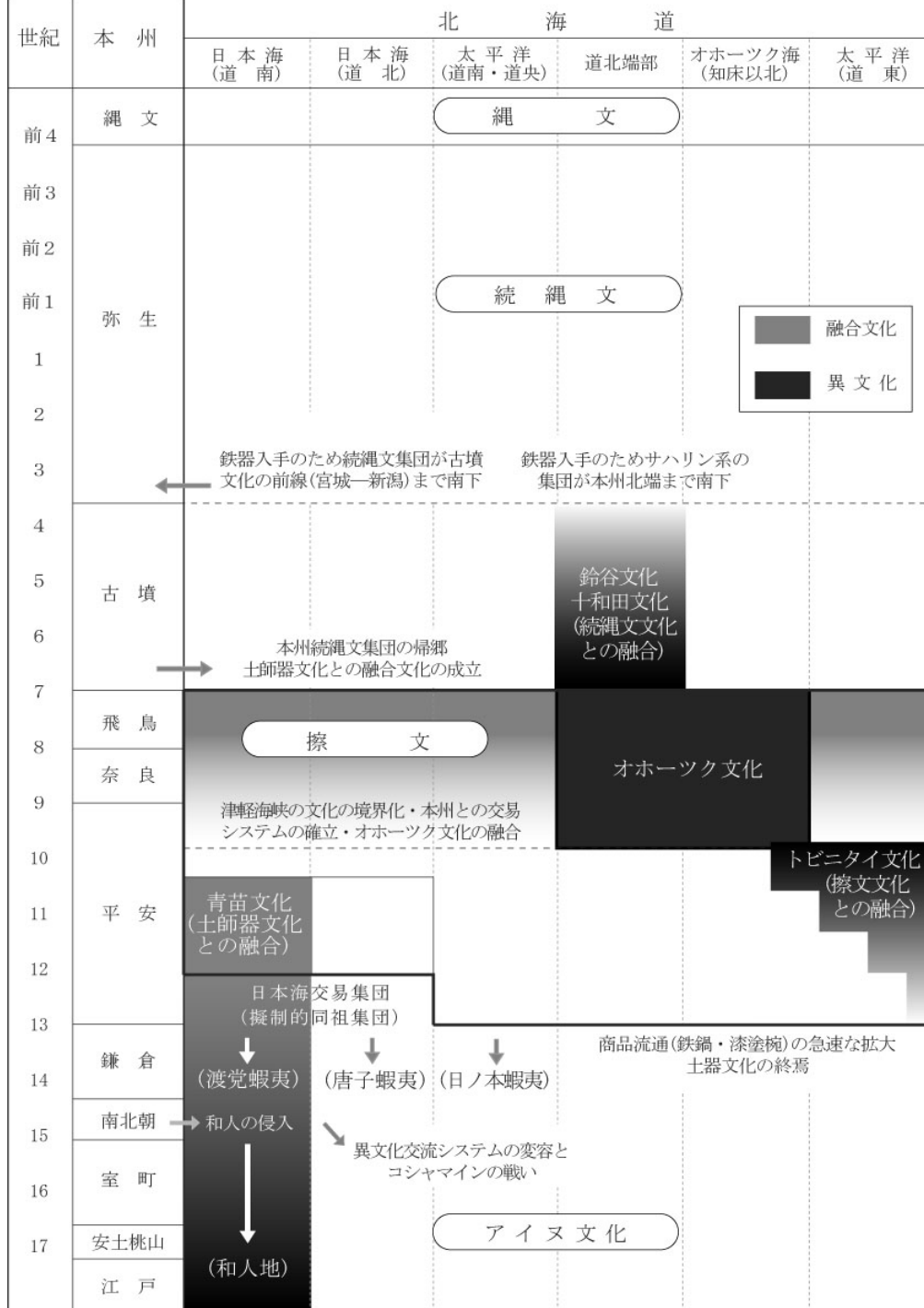
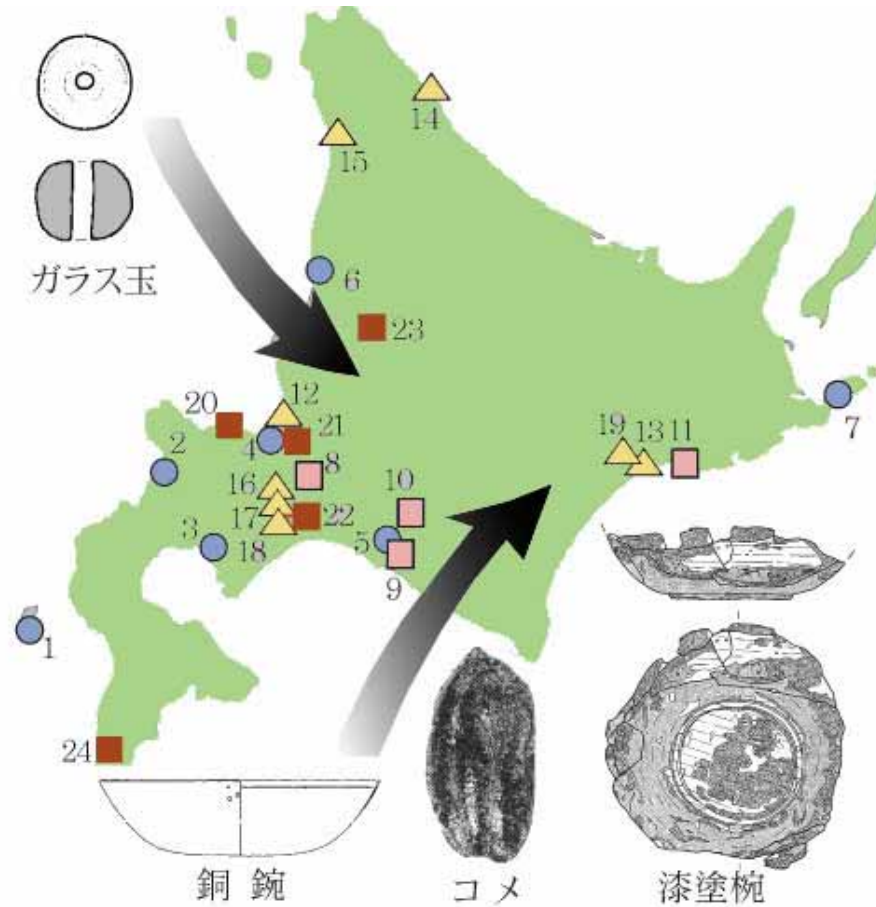


図1 擦文文化の成立と終焉の見取り図

図2 擦文文化の移入品



- ガラス玉 1 奥尻町青苗貝塚(点数不明) 2 共和町下リヤムナイ(5点)
3 伊達市オヤコツ(約30点) 4 札幌市 K39 (3点) 5 平取町カンカン2 (1点) 6 小平町高砂2 (1点) 7 根室市穂香(57点)
- 銅鏡 8 恵庭市カリンバ2 9 平取町カンカン2 10 平取町亜別
11 釧路市材木町5
- ▲ 漆塗碗 12 札幌市K36タカノ地点 13 釧路市STV 14 枝幸町ホロナイボ(ただし漆塗碗を模したと思われる擦文末期の土器)
15 天塩町天塩川河口 16 千歳市美々8低湿部 17 千歳市ユカンボシC15 18 千歳市梅川4 19 釧路市緑ヶ岡6
- コメ 20 小樽市蘭島D 21 札幌市サクシュコトニ川 22 千歳市ユカンボシC2 23 深川市東広里 24 松前町札前

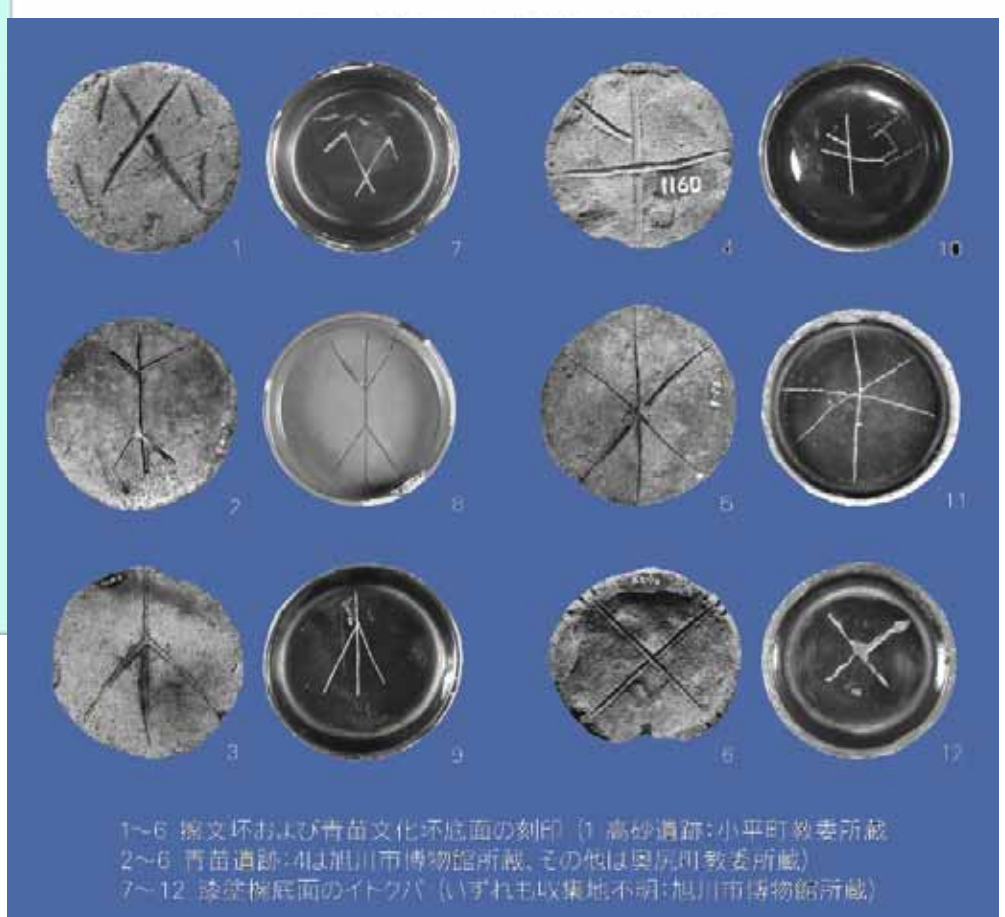
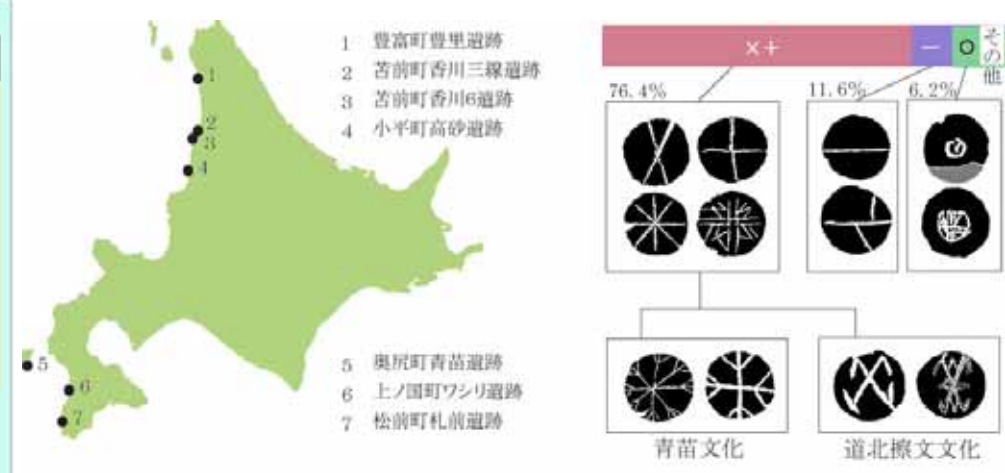


図3 底面刻印の出現と日本海沿岸集団の成立

オホーツク文化の後裔集団

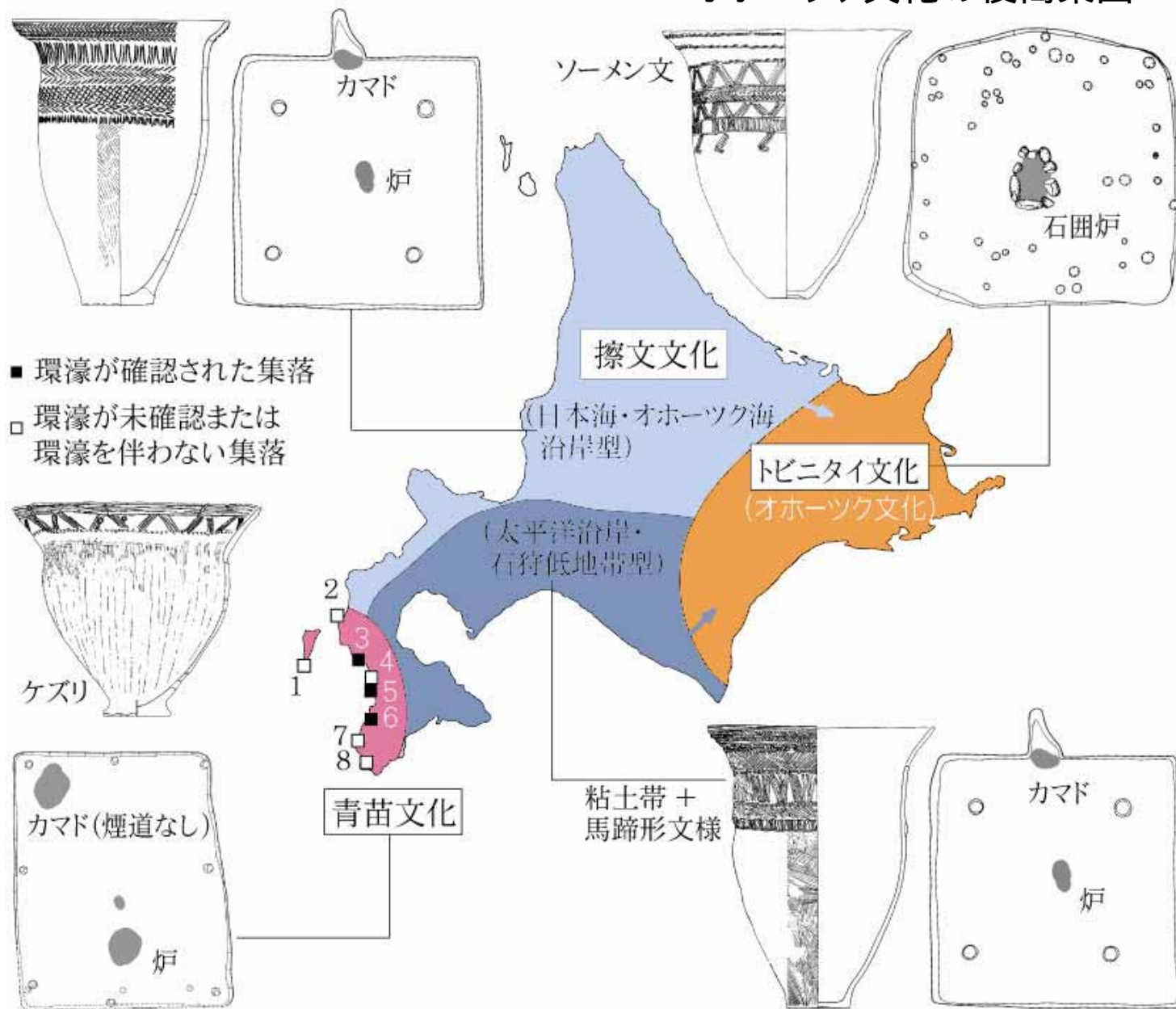
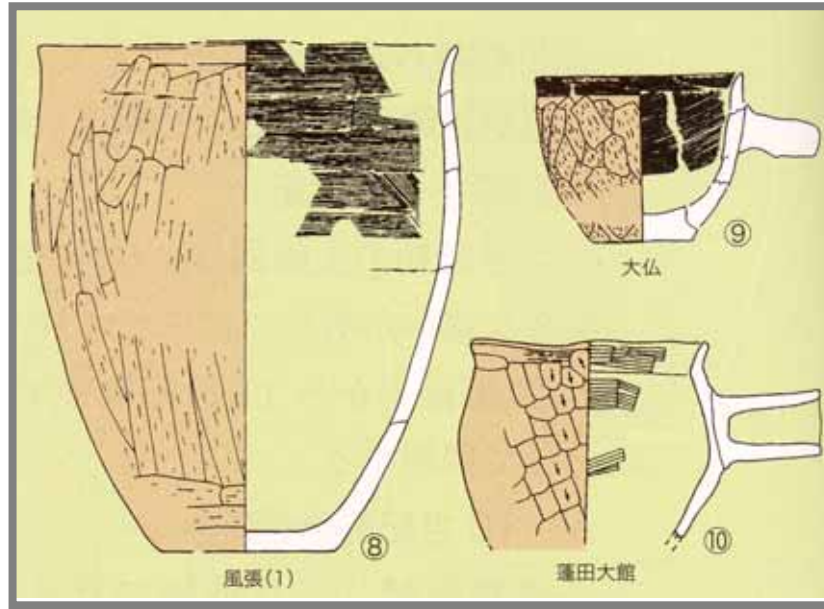


図4 青苗文化の成立と北海道の諸文化
(土器はいずれも11世紀代)



擦文土器



土師器 (青森)

青苗文化土器



図5 青苗文化の土器に
おける折衷性と固有性
のずれも11世紀代)



前半期

後半期



胴下半ケズリ・
ハケメ(ミガキの消失)



灰褐色を呈して還元気味(後半期)



図6 青苗文化土器の 製作手法の特異性

図7 土器からみた青苗文化の展開

前半期

土師器的

後半期

土師器的

- ・坏は還元焼成気味
- ・ケズリの導入
(ミガキ消失)
- ・黒色処理の消失

+

擦文土器的

- ・文様の導入
- ・ロクロの非導入
- ・マस्पロ化の拒否

器形の固有性



上ノ国町ワジリ



松前町札前



松前町原口館



奥尻町青苗と木柵をもつ井戸



乙部町小茂内



図8 青苗文化の住居・集落と東北北部との共通性

札幌遺跡の羽口・鉄滓分布

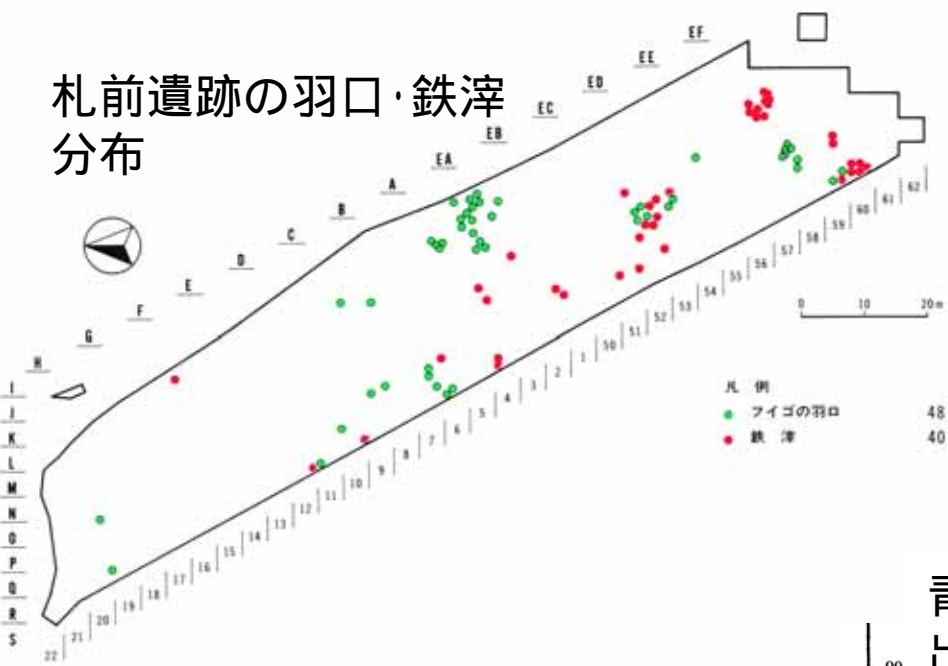


図9 青苗文化の生業活動における折衷性と固有性 (特定種の狩猟漁撈活動と鉄器生産への2極化)

青苗貝塚のアワビ 出土状況(上) およびアシカ遺存体 出土率(下)

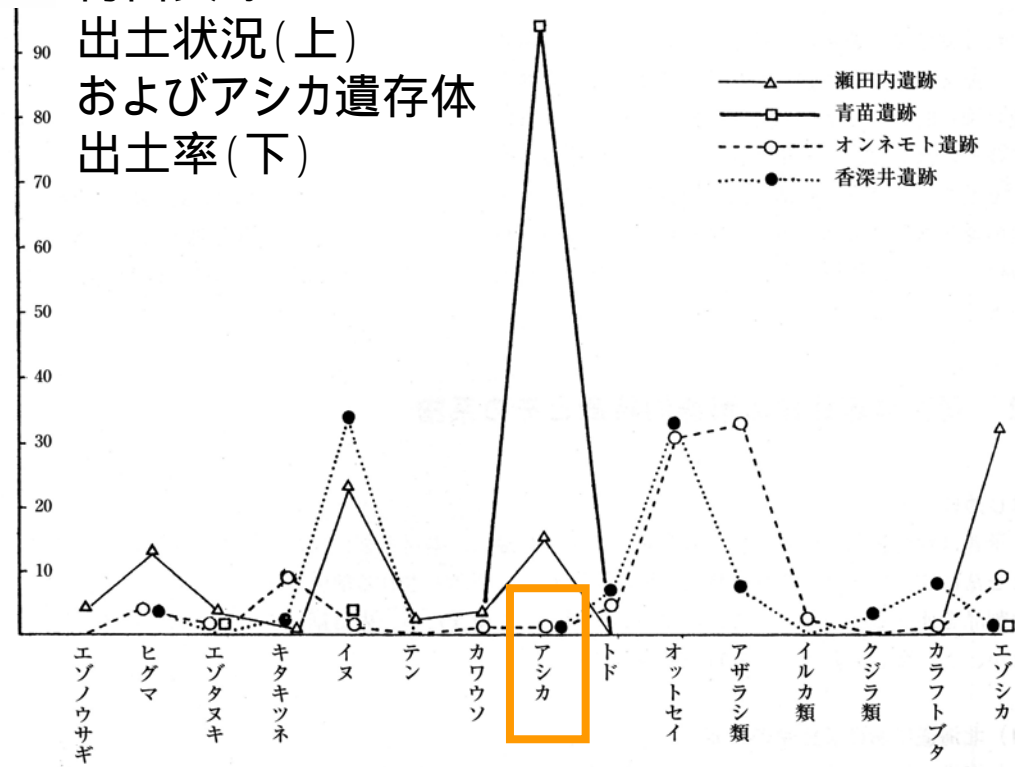


図 10 青苗文化の両属性

土師器文化的要素

擦文文化的要素

生 業

鉄器生産

狩猟漁撈

集落・住居

環濠集落・平地住居
壁立住居・井戸

地床炉

土 器

土師器的

擦文土的

交 流

津軽平野の遺跡に
おける土器の共伴

日本海北部との
底面刻印の共有